

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度第1回美幌町次世代育成支援推進協議会
開 催 日 時	平成30年 8月23日 (木) 午後6時30分 開会 午後7時16分 閉会
開 催 場 所	しゃきっとプラザ 会議室1・2
出 席 者 氏 名	別紙名簿のとおり
欠 席 者 氏 名	別紙名簿のとおり
事務局職員職氏名	別紙名簿のとおり
議 題	(1) 美幌町子ども・子育て支援事業計画実施報告について (2) その他
会議の公開又は非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	0名
会 議 資 料 の 名 称	第1回美幌町次世代育成支援推進協議会議案 書類番号1 美幌町子ども・子育て支援事業計画の実施状況について 資 料 1 美幌町子ども・子育て支援事業計画進捗状況
会議録の作成方針	☒ 録音テープを使用した全部記録
	☐ 録音テープを使用した要点記録
	☐ 要点記録
その他の必要事項	

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
（開 会） 事務局 （多田主幹）	皆さんこんばんは。定刻となりましたので、ただ今より平成30年度第1回美幌町次世代育成支援推進協議会を開会いたします。 この協議会は、美幌町審議会等の会議の公開に関する条例第3条により公開となります。会議の傍聴が出来ますのであらかじめご承知をお願いします。 本日、欠席のご連絡がありました方は中川委員、贅田委員、大坪委員、牧野委員の4名となっております。 それでは、当協議会会長であります早田会長よりご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いします。
早田会長	皆さん、こんばんは。皆さんお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。 本日は、平成29年度の報告ということになっております。皆さんのご意見をたくさんいただきまして、美幌町が子育て関係者全体で支援できるような体制、そして美幌町で子育てがしやすいねと言っていたような体制づくりをしていきたいと思っておりますので、皆さんの貴重なご意見をたくさんよろしくお願いいたします。 以上です。
事務局	ありがとうございました。 では、さっそく議題に入っていきますけども、これより先は会長が議長となり進行していただきますのでよろしくお願いします。
早田会長	それでは、3番の議題に入ります。 「（1）美幌町子ども・子育て支援事業計画実施報告について」ということで、事務局の方からご説明をお願いいたします。
事務局	それでは、私の方からご説明させていただきたいと思えます。申し訳ございません、着座してご説明してよろしいでしょうか。 （全員：はい。） まず報告に入ります前に、誠に恐縮ですが議案の訂正がございますのでお手元の議案の訂正をお願いいたします。まず、表紙からめくって3枚目の資料1、1ページ目「美幌町子ども・子育て支援事業計画進捗状況」。こちらの左側、※印を上から数えまして5番目の一番最後の所に「ひまわり保育所」とありますけれども、こちら「ひまわり保育園」の誤りですので、「所」を「園」に訂正をお願いします。「ひまわり保育園所」となっておりますので、「所」を「園」に訂正となります。 続きまして同じく6ページ目をめくっていただいて、一番上の「（8）一時預かり事業②在園児対象型以外」になりますけれども、黄色のセルの「平成29年度実績B」の「量の見込み」と「確保の方策」というところ。「943」と入っておりますけれども、こちらが両方の数字を「970」に訂正をお願いいたします。そしてその横、970の上の方の横の数字が「271.8%」とありますけれども、「279.5%」に訂正をお願いいたします。その下の所も「188.6%」とありますけれども、「194.0%」に訂正となります。申し訳ありません、さらに枠外「※子育て支援センター（801人）」とありますけれども、こちら「（828人）」に訂正をお願いいたします。以上となります。 大変お手数をお掛けいたしまして誠に申し訳ございませんでした。よろしいでしょうか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	（全員：はい。） それでは、「資料１美幌町子ども・子育て支援事業計画進捗状況」からご報告いたします。皆様お手元の議案の３枚目をご覧ください。本計画につきましては、子ども・子育て支援法に基づき、教育・保育提供区分ごとに「教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」の「量の見込み（ニーズ量）」を推計し、具体的な目標設定を行うことが求められ、アンケートによるニーズ調査を実施して設定したものです。 国から示された作業の手引きに基づき算出することが基本ですが、一部では実態と乖離していたことから、実際の利用希望を見込める量として算出されています。しかしながら、昨年もお話しいたしましたが、事業計画と実績とが前回大幅に乖離している箇所がございましたので、中間年における見直しを行っております。ただし、平成２９年度、今回ご報告差し上げますけれども、こちらにつきましては見直しを行っておりませんので大幅に乖離している箇所がまだございますことをご了承願います。なお、平成３０年度から見直しを行った部分につきましては表の下に茶色で記載しておりますので、後ほどご一読いただきたいと思います。 それでは、平成２９年度の実績についてご報告いたします。資料１の左上に※印として記載しておりますが、報告に入る前に主な記載内容を読み上げ致しますので、それからご説明という形にさせていただきます。 ※充足率は事業計画の平成２９年度Ａと平成２９年度実績Ｂとを比較したものととなります。すべての表におきまして薄い青色が事業計画で、その中に「平成２９年度Ａ」があり、右にあります黄色が「平成２９年度実績Ｂ」となっており、ＡとＢ、つまり計画と実績を比較したものが「充足率（Ｂ／Ａ）」として数字で表しております。 １００％を超えたものにつきましては計画以上に達成したことを意味しておりますし、１００％より数字が低いほど計画に対して実績が少なく満たされていなかったということになります。 ※事業計画の確保の内容人数については、各施設の最大受入可能人数から想定した数字となります。 ※実績Ｂは、平均値となります。 ※「確認を受けていない幼稚園」これは平成２９年度の時点ですので大谷幼稚園。「認定こども園」：藤幼稚園。「特定教育・保育施設」：美幌保育園・東陽保育園・藤幼稚園。「認可外保育施設」：ひまわり保育園・中央保育所。「地域型保育事業」：へき地保育所（上美幌・福住・田中）。 ※１号認定：教育標準時間、２号認定：保育認定（３歳児以上）、３号認定：保育認定（３歳児未満）。 ※計画及び実績は美幌町全体、公営・私営の合計となります。 なお、本日は事前に資料を送付させていただいておりますことから全ての項目についての説明はいたしませんので、後ほど資料でご確認いただきたいと思います。 ではまず、「１．教育・保育施設の需要量及び確保方策」からご説明いたします。なお、本資料の番号と美幌町子ども・子育て支援事業計画の中の番号は同一となっております。 （１）１号認定・２号認定（３歳以上、幼稚園、認定子ども園）の事業計画です。 事業の簡単な内容につきましてはその下の枠の中に記載しておりますが、詳しくは皆様お持ちの美幌町子ども・子育て支援事業計画の中に記載されておりますので後ほどご確認願います。 青色、事業計画平成２９年度Ａ、必要利用定員総数３０８名。右に行

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	きますと黄色平成29年度実績Bの欄で317名となっております。これを計画と実績とで比較したものが右端の上、充足率102.9%となっており、全体的には計画どおりということとなります。 全体としては計画どおりですが、ここでは2号認定、事業計画が80人でしたが、実績は11人となり充足率は13.8%となっております。 要因は、認定こども園に移行している藤幼稚園が幼稚園型ということで1号認定が中心ですので、2号認定が定員10名であることからこのようになっております。 また、一番下に過不足の欄がありますが、利用定員に対して実績数が不足していた場合に人数が入ります。平成29年度は過不足0人となっております。 続きましてP2をご覧ください。 (2) 2号認定（3歳以上、保育所）ですが、充足率88.6%でおおよそ計画どおりですが、確保の内容で認可外保育施設、事業計画270人、実績78人、充足率28.9%となっております。これは、ひまわり保育園以外の季節・へき地保育所が定員を大きく下回る人数だったため、及び季節保育所が平成28年度に閉所している関係です。 次の(3)とP3の(4)は全体充足率はほぼ計画どおりですが、(4)ではやはりへき地保育所の人数が少ないため、認可外保育施設だけを見ますと充足率が59.1%となっております。 同じくP3、2番。地域子ども・子育て支援事業の提供です。 (1) 利用者支援事業は、計画・実績ともにありません。表の下で※で補足しておりますとおり、子育て支援センターで同様の事業を実施しているため現状の情報提供・相談体制を継続していきます。 (2) 地域子育て支援拠点事業ですが、0から2歳児となります。計画が1,003人だったところ、実績は4,463人で充足率が高くなりました。低年齢児における子育て支援センターの役割が大きいものと思われます。 続きましてP4をご覧ください。(3) 妊婦健診事業、(4) 乳児家庭全戸訪問事業ですが、計画より若干少ない人数となっております。 (5) 養育支援訪問事業ですが、計画が14人、実績が28人でした。養育支援が特に必要な家庭への指導・助言が多かったものです。近年、支援を必要とする家庭が相変わらず増加傾向にあります。 (6) 子育て短期支援事業（ショートステイ）とP5 (7) 子育て援助活動支援事業は、実施はありませんでした。 続いて(8) 一時預かり事業 ①幼稚園における在園児対象型ですが、量の見込みで1号認定と2号認定で大きく乖離していますが、計画策定時は2号認定が増えると見込んでいました。 2号認定は先ほどご説明いたしましたとおり、結果的に定員が10人でしたので実績は低く、逆に1号認定人数が多いため、1号認定の実績が多くなっております。 町からの委託を行っていない件につきましてご質問、ご意見をいただきました。平成30年度から、子ども・子育て支援新制度での委託を行っていることをご報告させていただきます。 続いて同じく(8) 一時預かり事業②在園児対象型以外につきまして、利用者が相変わらず非常に増えております。親の病院通院や短時間パートでの預かりなどニーズが増加しており、町でも現在コミュニティセンター内の子育て支援センターを中心に行っております。平成30年1月から同じコミュニティセンターで行っております発達支援センターが旧中央保育所へ移転したことから、預かりを行える場所がより広く確保できていますが、深刻な保育士不足などにより対応に苦慮していると

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
早田会長 事務局	ころです。 続きまして（９）時間外保育（延長保育）事業です。通常の利用日時や時間を延長して保育を行っていますのは、ひまわり保育園のみとなっております。 次に（１０）病児・病後児保育事業ですが、計画として２５人でしたが、実績はありませんでした。 最後にＰ７（１１）放課後児童健全育成事業（学童クラブ）です。高学年で３５人を見込んでいますが、実績は障がいのある者２名の受入のみを行っています。皆様ご承知のとおり新制度移行に伴い国の基準としては小学校６年生までを対象としたところですが、これまで当町は受入出来ておりません。これにつきまして、平成３１年度までには目鼻をつけて解決していきたいとお伝えしておりましたが、現在、平成３１年度から段階的に４年、５年、６年生と拡大し受入出来るよう学校と協議中です。美幌小学校、東陽小学校ともに余裕教室がないという現状であり、現在ある学童教室の有効利用、および学校との共有スペースの利用について協議し拡大が実現できるよう努力しているところです。 以上で私からの報告を終わります。 それでは、また次の説明をいただいてから全体を通して質問等とご意見をいただきたいと思います。よろしいでしょうか。 （全員：はい。） それでは次をお願いいたします。 それでは、引き続き私の方からご報告いたします。まず、折り目のついているこちらのＡ３の用紙のご報告になりますが、ここに入る前に表紙をめくっていただいてよろしいでしょうか。書類番号１をご覧願います。こちらはこれからご報告いたします、全部で１０３ございます平成２９年度の個別事業につきまして、進捗状況を達成度別にＡ～Ｅに分類して評価を集計した表となります。評価方法につきましては、右上に記載してありますとおり達成度が高いものがＡとなり、Ｅにつきましては着手できなかったものとなっております。昨年度まで１０４事業ございましたが、１事業が廃止となり全部で１０３事業となっております。基本政策として大きく３つあり、地域における子育てにおける事業が８０事業、すべての子どもの育ちを支える環境の充実が１４事業、仕事と子育ての両立の推進が９事業ございます。事業別達成度を下にグラフ化しておりますが、全体でＡ事業内容を達成した、およびＢほぼ達成したを合わせますと８７．４％となり、３つの事業ともほぼ同様の達成度の高いものとなっておりますが、中にはＥの赤、達成できなかったものもございます。 それでは、ページをめくっていただきまして中折してあります３番目の子ども子育て支援事業計画、こちらの個別進捗状況についてをご覧ください。Ｐ１～Ｐ７までありまして、たくさん事業もございます。皆様既にお目通しのことと思いますので、大きなものに絞ってご説明させていただきます。多くの事業においてほとんどが達成しておりますので後ほどお目通しいただきたいと思います。 それではＰ１をご覧ください。上から２つ目、エンゼルサポート１２０は、おむつの無料回収事業開始のため廃止ということになっております。また、真ん中やや下、子育て世帯禁煙サポート事業ですが、中学生までの父母、祖父母から高校生までということで対象拡大となっております。 続きましてＰ２をご覧ください。下から４番目の放課後児童健全育成事業（学童保育所）につきましては、先程説明いたしましたので割愛さ

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
早田会長 三山委員 事務局	せていただきます。 続きましてP3をご覧ください。下から2番目チャレンジキッズスポーツ教室は、廃止となっております。文科省の採択を受ける機会が少ないことが理由となっております。また、一番下のキッズビートスポーツ教室ですが、平成30年度はスポーツセンター耐震化工事のため中止という形となっております。 続きましてP5をご覧ください。P5中央になります、子ども発達支援センターです。こちらは利用申込者が多く拡大しております。平成30年1月に療育室確保のため旧中央保育所を一部改修し移転しており、指導員人数分の部屋が作られ増加している利用者に対応しておりますが、現体制でも対応に苦慮しており、先日臨時職員の募集を行いました。が応募者がいなく、現在も募集中ですが残念ながら応募者がおりません。人員の確保が喫緊の課題でございます。 その下、幼児ことばの教室につきましても利用者の通所回数の確保のため拡大したいと考えておりますが、やはり人員の確保が課題になると思われま。 さらにその下、児童虐待防止対策の充実（関連機関の連携）です。こちらにつきましても国の法改正により市町村における児童虐待事務の増加や職員研修の義務付けなどにより、役割が大きくなっております。児童支援グループでは、私の隣におります関が担当として第1回目の研修を終えまして、9月の第2回目の研修に参加予定となっております。他に保健師が1名おります。 以上、簡単ではございますがご説明を申し上げました。表をご覧くださいのとおり、達成した事業、また、着手できなかった事業もございまして、それぞれ今後に向けての改善事項等が記載されておりますので、委員皆様におかれましては再度お目通しいただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。以上になります。 はい、ありがとうございます。今、事務局の方から2つありました。これに関しまして質問、ご意見ございましたら、挙手の上声を出していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。 よろしいですか。育成協議会の三山と申します。よろしくお願いいたします。最初の方、美幌町子育て支援事業計画進捗状況のまずP3の下、(2)地域子育て支援拠点事業ということで、計画が1,003名ということで、実績が4,000名を超えて充足率が400%ですね。もう1点です、P6(9)時間外保育(延長保育)事業。こちらはひまわり保育園さんが担当されているようなのですが、こちらでも700%、640%というように大幅に計画が実績を上回っていると。それで、利用される方が多いことはもちろん良いことではあるかとは思ひのですが、担当されている部署ですとか、対応されている担当の方が大丈夫なのかな、と思ってしまうのですよね。何百%ということになると、例えば人数を増やして対応していただいているのだとか、なんとか方法を考えていかないと負担が大きくなるのかな、という印象を受けるのですけれど、その辺はどうなのですかね。例えば、予定していた人数よりも多いのでスタッフを倍にして、3倍にして対応しています、というのであればいいのですけれど、行き届かない部分が出てしまうのかなと思うと、心配な部分でもあるので。 まず、地域子育て支援事業拠点事業の方ですけれども、基本的には人員というのは増にはなっておらず、やはりリピーターの方が非常に多くなっ

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
早田会長	ているという現状で増えているという状況ですね。ただ、最初の設定ですね、1、069人から始まってという。逆に人数、回数が低かったのかなということもあると思います。実際にこの4、000人オーバーなのですけど、近年はそれくらいの数字で推移しておりますので、やはりリピーターも増えているという中でこの数字になっていると思われます。また、職員も増はしておりませんが対応はきちんとしておりますので、大丈夫だと思っております。特にケガなどもかなり発生してるようなそういった状況でもありませんので、きちんとして行っております。
横山委員	はい、ありがとうございます。 はい、商工会議所の横山です。今のに関連してなのですけど、そうすると31年度、32年度とですね、一千何人から三百何人にぐっと落ちていきますよね。そうすると、さらに先程の数字がさらにぐんと上がることが予想されるという形を考えたときに、この計画の数字の見直しを図るのか図らないのかによって、今のように同じような質問が出てくると思うのですよね。 それともう一つ、それに関連してなのですけど、幼稚園の1号、2号認定で藤幼稚園が1号認定だったので少なくなったという数字ですよね。そうしたときに、その数字の見直しも30年度、31年度としていかなないと、また同じような説明、同じような数字になるかと思うのですけれど、その辺の数字の見直しを今後図るのか図らないのかその辺を教えていただきたい。
事務局	はい、昨年皆様に見直しということでお話をさせていただきまして、協議もしてもらいまして、この30、31年度の数字は見直した結果の数字ということで入れてありますので、それで29年度は1、000人程だったのですけれども、30年度からは見直しによりまして1年間の人数ではなくて、1か月あたりの利用者数ということで。単位は入っていないのですけれど、333人回ということで単位を見直しております。 これで、1年間となりますと大体4、000人くらいになるということになります。
早田会長	単位を見直しているということですね。はい、わかりました。ひまわり保育園が増えているというのはどうなのでしょう。
事務局	ひまわり保育園の関係は事務局からご説明させていただきます。ひまわり保育園さんですけども、理由について、本日贅田先生がいらっしゃっていないのですが私の方で伺っております。早朝からどうしても勤務しなくてはならないという方がいらっしゃいまして、その方のために毎日対応した結果、このような数値になったという報告を受けておりますのでご報告いたします。
早田会長	すみません、今説明を頂いた（9）の延長保育の30年度の40というのは人数が増えたということでしょうか。
事務局	はい、そうです。
早田会長	これは、単位ではございませんね。
事務局	はい。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
早田会長	お子さん1人が早く来るからということですか。
事務局	そうです、どうしても朝7時くらいには出ないといけないという仕事の方がいらっしゃったそうなんですよね。
早田会長	お母さんがね。それで子どもを7時前後までには保育園に着くようにと。
事務局	はい、そういったことでどうしても時間外に受けざるを得なかったと。
三山委員	極端に言えば、その方の部分で数字が膨らんでいると。
事務局	はい、そういうことでした。
三山委員	分かりました。
事務局	先ほどの横山さんのもう一つの2号認定の話です。こちらも見直しによりまして変わっておりまして、(2)の※の方に書いてあるのですが、30年度からは確保の内容が特定教育・保育施設をへき地保育所ですね、特例保育というふうに変更しているということで数字がかなり変わってくるということになっております。
早田会長	はい、すみません、今のご説明でよろしいでしょうか。 (全員：はい) ありがとうございます。他、ございませんでしょうか。どんなことでも結構です。挙手をお願いいたします。
河原委員	はい。美幌小学校の河原といいます。先ほどの説明の子ども子育て支援事業計画の個別の進捗状況についてということでA3の紙がありましたが、このP5にある幼児ことばの教室について記載されていたのですが、今後拡大をということで出ているのですが、これは美幌小学校に併設していることばの教室ですよね。
事務局	はい、そうです。
河原委員	わかりました。今、確かお二人の方が担当されていると思うのですが、今後人員の確保ができれば、また小学校内にお部屋を確保して、というような考えなのでしょうか。
事務局	実は、まだ細かい所は詰めたりはしていなく担当レベルで考えているということなのですが、やはり相談等が多くなってきているということもありまして、訪問相談がメインで相談を受けたりしているのですが、訪問相談の方に行く職員が1人、あとは中で実際に指導する職員が2人ということが望ましいのかなという話はしておりまして、そうすることによりまして受け入れる子を増やしていけるというふうを考えております。現在ある2部屋はそのまま使わせていただいてということで執り進めたいと思っておりますが、まだ具体的にやっていくという話まではしておりませんので、今後さらに希望者が増えるという状況が続くようであれば検討しなければいけないかなとは思っております。
河原委員	分かりました、ありがとうございます。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
早田会長	はい、よろしいでしょうか。ありがとうございます。
井上副会長	はい。井上です。人員の確保ということなのですが、勤務する側にすると臨職よりはやはり正職だと募集に手を挙げる人がいるかもしれないけれど、嘱託ということで手を挙げてこない人がいるのではないかなと思うのですが、その辺りを含めて人員の確保というか、職員の待遇など、その辺の所はどのように考えていらっしゃるのでしょうか。
事務局	やはり、募集する中でなかなか応募がないという状況は確かに続いておりまして、臨時職員だからということも確かにあるかもしれませんが。 待遇につきましても、臨時職員ではありますけども数年前に賃金単価も上げましてやっているところなのですけども、やはり現状ではなかなか保育士の確保が全国的に厳しい状況だということは聞いておりますし、町としても何とか確保したいなとは思っているのですけれども、なかなか厳しいといったことは変わっておらず、今後さらに本当にどうしても人がいるということであれば正職も考えていきたいのですが、役場全体の正職枠などがありまして、なかなかすぐに行かないのかなとは思っている所です。
井上副会長	財政的なことがあるのでそう簡単にはいかないのかもしれないけれど、こうして発達支援センターだとかそういった所にも昔と違ってニーズはかなりあって、小さいうちから発達障がいがあったり、少し手を差し伸べたら普通学級に行けそうな子だとかそういった子どもが増えていって中で、今の世に合わせた配置をしていかなければいけないというような所まで今現在来ているのではないかなと思うのですよね。だから、そういった部分でも財政的な面もあるけれど、これからどこにウエイトを置いていかなければいけないのかということも考えた中でできたら進めて頂けたらありがたいと思います。子どもは減っているかもしれないけれど発達障がいを持った子が増えてきているのですよね。本当に真剣に考えていって、何とか小さいうちにそういった子どもに適切な支援をしていったら将来的に困らないで学校とかに行って通常の子どもたち、健常な子どもたちと通えるようになる可能性があるけれども、小さいときに支援がなされず遅れて、結局困っている子どもたちが増えてきていると思うのですよね。そういう子どもたちを何とかしてあげて欲しいなということを切に願うところで。何とかよろしくお願いいたします。
事務局	人の配置、処遇改善もあるのですけれども、今受け入れできないという所にはなっていない、ぎりぎり、限られた職員の中で今やっておりますけれども、今おっしゃられたように少子化と言われる中でも昔と違ってそういった色々な部分で進んできています。小さいうちから発達支援センターなどのお話を聞きたいという形の相談も増えてきていますので、対応できないという形になっては行政としてまずいので、ぎりぎりの所でやってはおりますが徐々にここ数年見ても増えてきているのは実態なので、早め早めに人を確保したいとは考えているのですが、処遇改善含めまして定数であるとか色々な部分もあります。それと資格を持っている人がどうしても必要になるのですが、都会の方に行ってしまうことが多いのです。学校を出たらそのままなかなか戻ってこないで、地元に戻ってくるよりも学校のある所でと。大都市の方でも同じように人がいないということで、給与だけで考えられてしまうと太刀打ち出来ない部分もあるのですけど、そういう部分も含めまして、町で見れないという形には取れませんので、対応できる体制でぎりぎりでは

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	やっておりますけれども、今後さらに増えてくる分につきましては対応するよう努力させていただきますので、逆に情報、資格を持って家にいる方やパートでも来れる方がいらっしゃるという情報がありましたら教えていただき町の方でも対応しまして採用し確保していきたいと考えておりますので、そのような部分ではまたご協力もお願いしたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。
早田会長	今の時代、何にしても人材が不足しているのですよね。はい、ありがとうございます。他にになにかご質問ございますでしょうか。
横山委員	はい、すみません。2枚目の書類番号1で先ほどA3判の冒頭の説明があったと思うのですが、このA～Eというのがあるが、確かにコメントは書いているとは思いますが、何をもってのA～Eの評価なのか。目標、数字の入ってるところはある程度理解は出来るのですが、無いものに関してのA～Eの判断がどうなのかなというふうに思いました。それであれば、ほぼコメントにこういうふうに書いているのであれば、事業をやったという評価が書いてあればもうほぼすべてAでいいのではないかなという気がしないでもないかなと。実際にやっている訳ですから。そのような解釈もしかりかなというふうに思います。意見として。
早田会長	貴重なご意見承りました。ありがとうございます。何かございますか。なければ次に進みたいと思います。また、気が付いたことがございましたら会議が終わって直接事務局にお話しいただければと思います。よろしいでしょうか。 （全員）はい。 それでは（2）その他に入ります。事務局の方から何かございますでしょうか。
事務局	はい、それではその他としまして、先ほどもお話に出てきておりますけれども、美幌町子ども・子育て支援事業計画につきましてご説明申し上げます。 まず、昨年11月開催の際に協議していただきました現在の本計画の中間年における見直しについてありますけれども、協議会開催以降、諸手続きを経まして本年3月に決定しております。 協議していただいた時には、見直しの前後がわかるように数字を二段書きにするなどで表記しておりましたけれど、基本的には協議していただいたものに修正がなく、本日皆さんには改訂版としましてこの見直し後の計画書の持参をお願いしておりましたので、計画書につきましてはそれぞれご確認いただければと思います。 次に、次期の計画についてでありますけれども、次期計画につきましては平成32年度から36年度までの5年間の計画として定めなくてはならず、その作業を今年度から進めることになっております。 スケジュールとしましては、今年度中に住民の子ども・子育てに係るニーズを把握するためニーズ調査（アンケート調査）を行います。 この調査に当たっては、国から示されております「基本指針」に基づきまして、「利用希望の把握」に関して調査の実施の考え方や調査票のひな形が提示される予定でありますけれども、現在の所国から調査について具体的なものがまだ示されておらず、皆さんにお示しできるものがな

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
早田会長	い状況です。 従いまして、次回の協議会でニーズ調査についてご説明をしたいと考えております。この調査の結果のとりまとめを行った後に、31年度には庁内検討委員会、そして当協議会でそれぞれ数回の協議を踏まえまして31年度中には計画を決定しまして、32年度からスタートさせるという流れで考えております。 以上が次期計画策定のスケジュールでしたけれども、現委員の皆様におかれましては、来年の11月28日までが任期となっており、次期計画の素案決定までは関わっていただくことになろうかと思っておりますのでよろしくお願いしたいと思います。以上です。 はい、ありがとうございます。もう次ですか、早いですね。その準備があるそうです。 任期でございますが、11月末頃、28日までということでございますのでまた協力をいただくことになりますので、その時期に会議の際にはよろしくお願いいたします。 皆さんの方からその他お持ちでしょうか。何か情報を聞きたいなどございませんか。よろしいですか。 （全員：はい。） ありがとうございました。それでは、議題の方を閉会させていただきます。何か最後ございませんでしょうか。
事務局	次回の開催時期について、今ご説明した通り、ニーズ調査の内容が固まった時点でまた皆様にお集まりしていただきたいと考えております。時期につきましてはまだ未定であります。開催の際にはまた文書で通知させていただきますので、よろしくお願いいたします。11月か、12月か分かりませんが。
早田会長	はい、分かりました。それでは本当に皆さんどうもありがとうございました。貴重なお時間でございました。第1回美幌町次世代育成支援推進協議会を終了いたします。今日はどうもありがとうございました。 （全員：ありがとうございました。）

美幌町次世代育成支援推進協議会出席者名簿

(敬称省略)

	団 体 名	氏 名	出 欠
1	美幌町民生委員児童委員協議会(主任児童委員)	ハヤタ シンジ 早田 眞二	○
2	美幌町民生委員児童委員協議会(主任児童委員)	イノウエ ユウコ 井上 裕子	○
3	美幌町民生委員児童委員協議会(主任児童委員)	ナカガワ ムツコ 中川 睦子	欠
4	美幌町自治会連合会女性部会	ハタ イクコ 畑 郁子	○
5	社会福祉法人 美幌町社会福祉協議会	フジタ ヒロタカ 藤田 浩孝	○
6	美幌町青少年育成協議会	ミヤマ シュウイチ 三山 秀市	○
7	美幌町PTA連合会	ヤスイ シュンジ 安井 俊司	○
8	美幌町小中学校長会	カワハラ ケン 河原 賢	○
9	美幌大谷幼稚園	クニサワ ノリコ 國澤 智子	○
10	美幌藤幼稚園	オオツボ ヒロミ 大坪 弘美	欠
11	へき地三地区合同父母の会	イチノヘ ヒロヒト 一戸 宏公	○
12	美幌保育園父母の会	ハセガワ コウイチ 長谷川 浩一	○
13	美幌町手をつなぐ連絡協議会	マキノ ヤスノリ 牧野 泰乗	欠
14	美幌町ハート支援ネットワークの会	オオタカ チエコ 大高 千悦子	○
15	特定非営利法人 ひまわり保育園	ニエダ トモコ 贇田 知子	欠
16	美幌商工会議所	ヨコヤマ キヨミ 横山 清美	○
17	一般公募	ナカタケ コズエ 中武 梢	欠
18	一般公募	ホンダ 本田 さつき	○
	町側	高崎民生部長	○
	町側	多田児童支援主幹	○
	町側	関保育指導主査	○
	町側	一色業務担当主査	○
	町側	西川事務補	○